

プロジェクト 収益認識

項目 本日の検討の概要

これまでの経緯

1. 2018年3月30日に公表した企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」(以下「収益認識会計基準」という。)第80項及び第156項においては、収益認識会計基準が適用される時(2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首)まで(準備期間を含む。)に開示及び表示に関連する事項を検討している。
2. これまでの収益認識専門委員会及び企業会計基準委員会においては、次の事項についてご説明した。

企業会計基準委員会 又は専門委員会	内容
第94回収益認識専門委員会 (2019年3月19日開催)	(1) 収益認識会計基準が適用される時までに検討すべき事項 (2) IFRS第15号の開示規定 (3) Topic 606適用企業の開示例
第95回収益認識専門委員会 (2019年4月17日開催) 第407回企業会計基準委員会 (2019年4月25日開催)	(1) 注記事項の検討を進めるにあたっての基本的な考え方 (2) 注記事項の検討-開示目的及び重要性 (3) 収益認識会計基準等に係る表示に関する事項
第96回収益認識専門委員会 (2019年5月30日開催)	(1) 注記事項の検討-開示目的 (2) 注記事項の検討-収益の分解情報 (3) 注記事項の検討-収益を理解するための基礎となる情報

本日の検討事項

3. 本日の企業会計基準委員会では、次の論点について、ご審議いただくことを予定している。
 - (1) 注記事項の検討-開示目的(審議事項(5)-2-1)
 - (2) 注記事項の検討-収益の分解情報(審議事項(5)-3)

- (3) 注記事項の検討-収益を理解するための基礎となる情報（審議事項(5)-4)
- 4. なお、聞かれた意見について、次の資料を添付している。
 - (1) 第95回収益認識専門委員会（2019年4月17日開催）及び第407回企業会計基準委員会（2019年4月25日開催）で聞かれた意見及び対応案（審議事項(5)-2-2)
 - (2) 第96回収益認識専門委員会（2019年5月30日開催）で聞かれた意見（審議事項(5)-5)

以 上